

ヘルスサービスリサーチ分野

生活と調和した医療のためにー



筑波大学医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
筑波大学ヘルスサービス開発研究センター
教授・センター長 田宮 菜奈子

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/hsr/index.html>



ヘルスサービス開発研究センター

在宅診療等、現場で感じた疑問がスタート

自宅退院を目指しリハビリ達成しても家に帰れない 在宅ケアを希望してもかなわないIVH癌患者



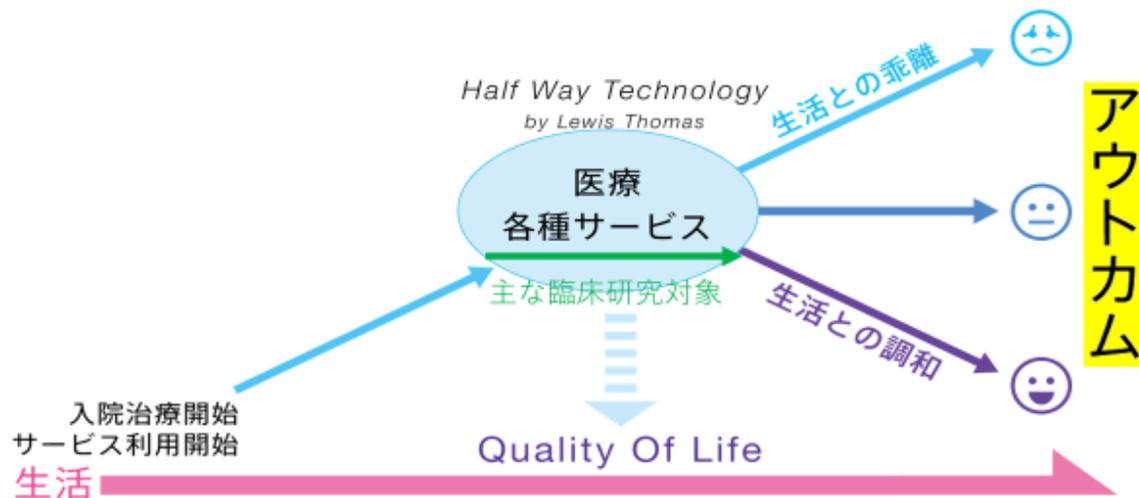
病院での高い医療技術とともにありつつ・・・
質の高い生活につながらない！
一人の医師の力では限界！
→社会医学・公衆衛生学へ(下記は入学時のプレゼン)

医療の前後を含めた視点の重要性

必要な人が医療にアクセスできているのか？
医療の後のアウトカムは？生活の質は？

高度医療も片道切符の技術(Halfway-Technology)
になっていないか

在宅医療の評価研究で学位取得（しかしマイノリティー）



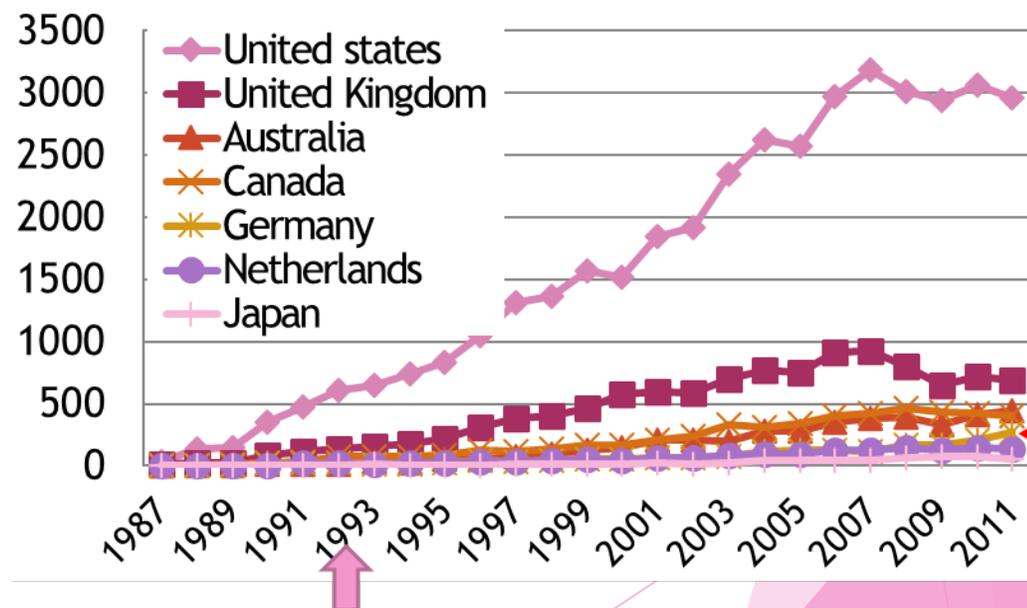
生活と調和した医療のために

HSR(Health Services Research)

人に健康・幸福にもたらす医療技術を、必要な人に、いかに効果的にサービスとして届けるかを学際的に研究する学問分野：HSRに米国留学で1993年に出会う。



HSRをキーワードに含む論文における国別*論文数の年次推移(1987~2011年)



日本でHSR開講を夢見て帰国。

10年後、筑波大学で開講。我が国初のHSRの特化した研究室

HSRが必修科目に位置づけられたMPHは本学だけ！

ユニークな先生たち http://www.md.tsukuba.ac.jp/hsr/index_member.html

一丸となってみなさんをサポートします。



教授 田宮 亜奈子

<p>客員教授 阿部 智一</p>		<p>所属 筑波記念病院 救急科</p> <p>資格・仕事 救急科専門医、集中治療専門医、プライマリケア指導医、MPH、PhD・救命救急医</p> <p>専門分野 救急・集中治療 臨床研究</p> <p>最近の研究テーマ 救急医療とHSR、集中治療とHSR</p> <p>抱負など 重症患者に国際標準的な診療を届けることができる研究を行います</p>
--------------------------	---	--

准教授
(クロスアポイント)

杉山 雄大



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
国立国際医療研究センター 研究所 糖尿病情報センター 医療政策研究室長 (クロスアポイントメント)

資格・仕事
社会医学系専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医、内分泌代謝専門医、総合内科専門医、
Master of Science in Health Services、博士(医学)

専門分野
糖尿病、HSR、医療政策

助教

伊藤 智子



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

資格・仕事
看護師/保健師、博士(ヒューマン・ケア科学)

専門分野
介護保険制度、地域医療

抱負など
田宮先生に師事させていただくのも学部4年から数えて7年目になりますが、先生方の親身なご指導でなんとか続けられています。私は高齢者がケアの利用に対し公平に豊富な選択肢を持つことが望ましく、またそれを他者が支持できるような効率的な制度設計が重要と考えています。

森 隆浩



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
東千葉メディカルセンター総合診療科 副部長

資格・仕事
社会医学系専門医・指導医、日本老年医学会老年病専門医、日本内科学会認定内科日本骨粗鬆症学会認定医
アメリカ家庭医療専門医 (Family Medicine Residency at University of Virginia)、アメリカ老年医学専門医(Geriatrics Fellowship at UCLA)、カリフォルニア州医師免許、ECFMG Certification
博士(医学)(筑波大学)、Master of Science in Health Services(UCLA Field)

岩上 将夫

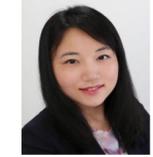


所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

資格・仕事
医師、公衆衛生学修士、Master of Science in Epidemiology (University of London)、Doctor of Philosophy in Epidemiology and Population Health (University of London)
日本内科学会認定内科医
Educational Commission for Foreign Medical Graduates (ECFMG) certificate in the USA
Professional certificate in pharmacoepidemiology and pharmacovigilance (London School of Hygiene and Tropical Medicine)

専門分野
薬剤疫学、臨床疫学、ヘルスサービスリサーチ

金 雪瑩



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

資格・仕事
学士(経済学)、修士(MBA)、博士(PhD)

専門分野
Quality of care, falls in long-term care facility

研究テーマ
特に介護の質の評価に興味があり、この分野の知識を深めたいです。

抱負など
修士までは経済・経営を勉強しており、今後は、介護の質の評価における、マーケティング面と医学面での研究を踏みたいと思います。

石丸 美穂



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

資格・仕事
歯科医師、公衆衛生学修士(専門職)、博士(医学)

専門分野
歯科臨床疫学、歯科ヘルスサービスリサーチ、ビッグデータ研究

森田 光治良



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

資格・仕事
看護師、保健師、公衆衛生学修士(専門職)、博士(医学)

専門分野
臨床疫学、ヘルスサービスリサーチ、医療政策、ビッグデータ研究

佐方 信夫 (2019/12/1着任)



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
医療法人平成博愛会世田谷記念病院 在宅医療部長

資格・仕事
社会医学系専門医・指導医
日本内科学会総合内科専門医
プライマリ・ケア認定医
博士(医学)(東京医科歯科大学)
修士(公衆衛生)(ハーバード公衆衛生大学院)
JICA 短期専門家(タイGLO+UHCプロジェクト)

専門分野
医療政策学、診療報酬制度

井口 竜太



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
重城病院 救急科・総合診療科 医長

資格・仕事
救急科専門医、集中治療専門医、麻酔科医、臨床研修指導医

専門分野
救急・集中治療、救急システム開発、臨床研究、症例報告

国内外でMPHやHSRの学位
を取得した教員が多数

(本学MPH, 東大MPH, Harvard, UCLA London School etc)

Felipe Sandoval



所属
医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
地球規模学位プログラム

資格・仕事
MPH, PHD

専門分野
グローバルエイジング

抱負など
I dream of running my own long-term care facility and that n would help the people of Chile to have a better future based o practices and evidence, especially senior citizens, usually neg policy-makers and researchers.

HSR研究例紹介

The Lancet Special Series on Japan: Universal Health Care at 50 years

『ランセット』日本特集号：国民皆保険達成から50年

2011年9月1日刊行

我が国の皆保険制度導入50周年を記念し、世界的医学雑誌『ランセット』の日本特集号が9月1日に日英で同時刊行されました。

本号は、日本が短期間で長寿社会を実現した要因、皆保険制度の長所と限界、高品質低コスト医療の実態、急速な高齢化に対応する介護保険制度導入による成果と課題、保健外交における日本の優位性と役割を主要テーマとして科学的分析と検証を行い、国内外に向けて提言を行っています。『ランセット』はこれまでに、メキシコ、中国、東南アジア、インド、南アフリカの特集号を組んでいます。先進国単独で特集が組まれたのは日本が初めてです。

保健医療分野をめぐる国際的な議論では昨今、皆保険、少子高齢化への対応に関心が集まっており、50年も前に皆保険を達成し、高い平均余命を誇る高齢化先進国日本の経験は、海外から注目されています。さらに、高齢化、経済の低迷、財政赤字等によって、従来のやり方では立ち行かなくなっている状況そのもの、さらにそれをどう克服しようとしているのかも、近い将来、同様の課題に直面する近隣諸国に示唆を与えるものと言えます。

本特集号が、国内に留まらず、国際的な保健医療分野の政策論議に寄与することを祈念しています。

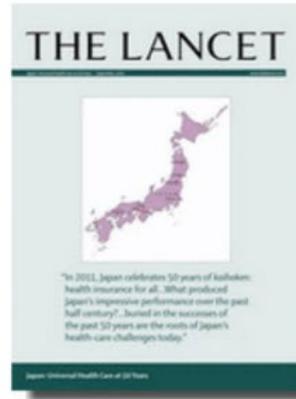
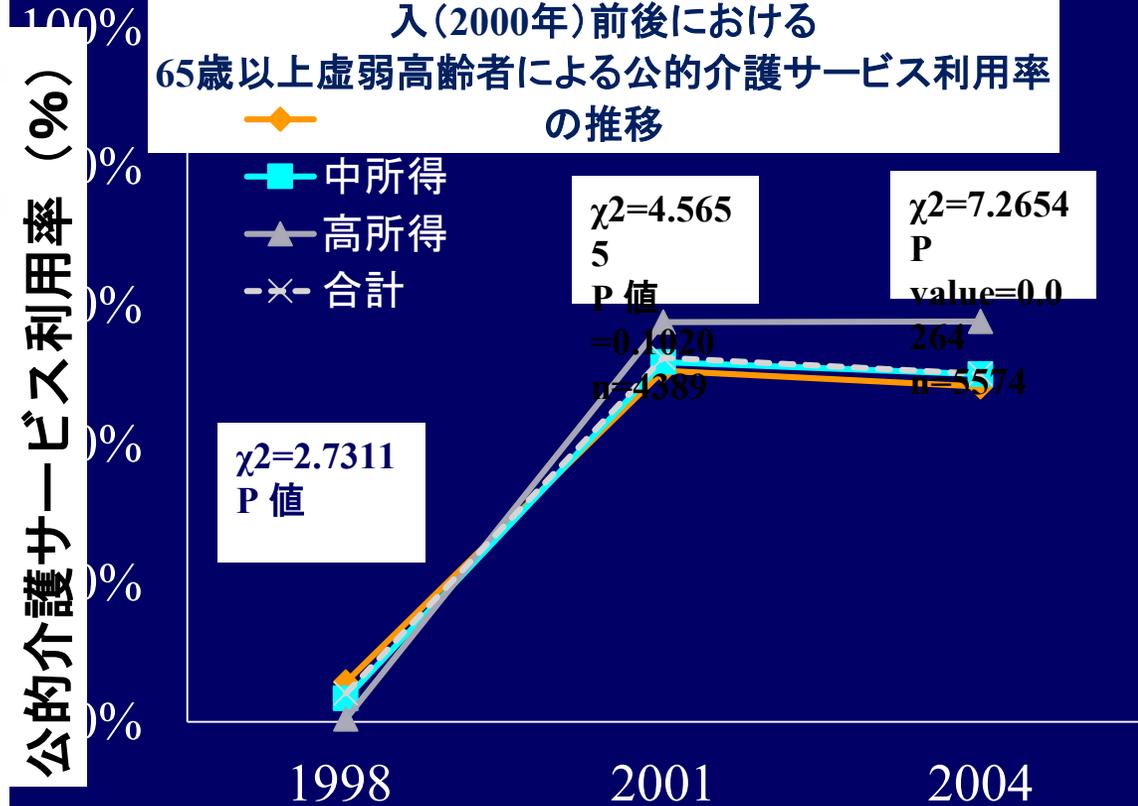


図2: 世帯所得階層(3分位)別、公的介護保険制度導入(2000年)前後における65歳以上虚弱高齢者による公的介護サービス利用率の推移



措置の福祉の時代では低所得の方が利用が高かったが、介護保険(一律自己負担発生)の後には、高所得の方が有意に高い。

研究テーマ

- ▶ NDBやDPC データを用いた医療の質に関する分析
- ▶ 全国介護レセプトデータ等を用いた介護の質に関する分析
- ▶ 医療介護連結データ（自治体レベル）を用いた医療介護連携やケアの質に関する分析
- ▶ 介護保険事業（支援）計画に役立つ地域指標人生の最終段階における医療のあり方に関する調査の手法開発及び分析に関する研究
- ▶ グローバルエイジング：世界の高齢化に向けた海外データとの比較研究など
- ▶ 家族介護者の現状把握（就労状況・世帯収入および貯蓄・健康状況）
- ▶ 歯科口腔保健の新たな評価方法・評価指標の開発のための調査研究

最近の業績

1. Watanabe T, Sugiyama T, Takahashi H, Noguchi H, Tamiya N. Concordance of Hypertension, Diabetes, and Dyslipidemia in Married Couples: Cross Sectional Study using Nationwide Survey Data in Japan. *BMJ Open*, Accepted in 2020.
2. Gallagher J, Bolt T, Tamiya N. Advance care planning in the community: factors of influence. *BMJ Supportive & Palliative Care*, doi: 10.1136/bmjspcare-2020-002221, 2020.
3. Miyawaki A, Kobayashi Y, Noguchi H, Watanabe T, Takahashi H, Tamiya N. Effect of Reduced Formal Care Availability on Formal/Informal Care Patterns and Caregiver Health: A Quasi-Experimental Study Using the Japanese Long-Term Care Insurance Reform. *BMC Geriatrics*, 20:207, <https://doi.org/10.1186/s12877-020-01588-7>, 2020.
4. 小竹 理奈, 羽成 恭子, 岩上 将夫, 大河内 二郎, 植嶋 大晃, 田宮 菜奈子. 介護老人保健施設で看取りを行った遺族における看取りの満足度との関連要因 日本公衆衛生雑誌, 67巻6号, 2020
5. Taniguchi Y, Iwagami M, Sakata N, Watanabe T, Abe K, Tamiya N. Epidemiology of food choking deaths in Japan: Time trends and regional variations. *Journal of Epidemiology*, in press, 2020.
6. Hamano J, Hanari K, Tamiya N. End-of-life care preferences of the general public and recommendations of healthcare providers: a nationwide survey in Japan. *BMC palliative care*, 19(1)/p.38, doi: 10.1186/s12904-020-00546-9, 2020.
7. Jin X, Mori T, Sato M, Watanabe T, Noguchi H, Tamiya N. Individual and regional determinants of long-term care expenditure in Japan: Evidence from national long-term care claims. *European Journal of Public Health*. <https://doi.org/10.1093/eurpub/ckaa065>, 2020.

大学院生

▶ 博士課程（医学）

D 4 羽成 恭子

D 2 孫 瑜

D 1 井澤 智子

谷口 雄大

服部 早苗

城戸 崇裕（小児科）

▶ 博士課程（ヒューマン・ケア、パブリックヘルス）

D 3 柏木 公一

Maria Lisseth Morales Aliaga（Peru）

平 健人

D 1 大森 千尋

西川 貴清

▶ 修士課程（MPH）

M 2 小宮山 潤（理学療法士）

M 1 鈴木 愛（理学療法士）

中山 慶一（製薬会社研究員）

浜崎 曜子（看護師）

医療と介護にデータの光をあて 生活と調和した医療 QOL向上に資する介護へ



ヘルスサービス開発研究センター ロゴ

生活と調和した医療のために

みなさん、と一緒に、楽しく意義ある研究を進めていきましょう⁸!